

町会報

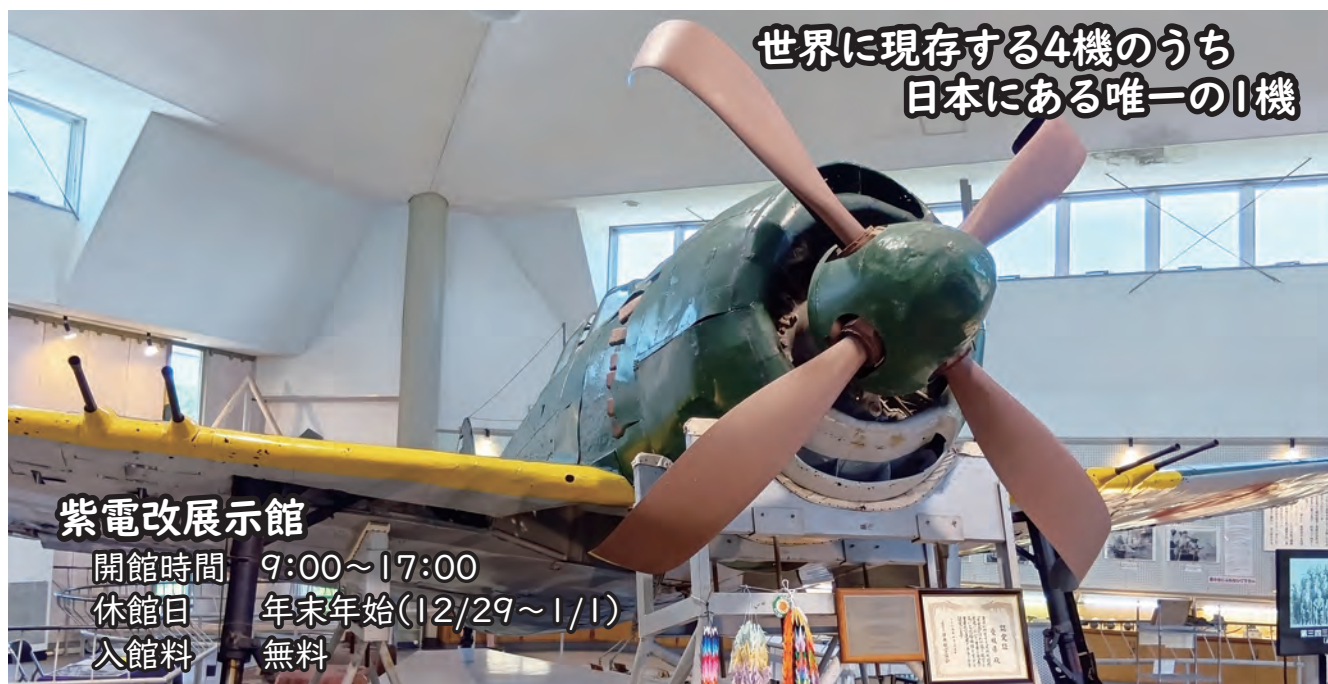
えひめ

2025

9

Vol.198

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



『紫電改』重要航空遺産に認定

愛媛県が所有し、愛南町で展示している旧日本海軍の局地戦闘機「紫電改」が、7月25日(金)付けで(一財)日本航空協会の重要航空遺産に認定されました。

展示されている紫電改は技術的・歴史的価値が高く、海没による損傷があったもののオリジナル部分を残すことに注意が払われた修復が行われており、広く社会に伝え次世代に受け継ぐべき遺産であると高い評価を受け、全国13例目で中四国初となる認定に至りました。

Contents

令和7年度四国四県町村長・議長大会	2~4
令和7年度初級職員研修会	5
議長紹介	6

一筆/9月の会と催し	6
お知らせ 全国町村議会議員団体医療保険	7
町からのお知らせ	8

四国四県町村長・議長大会を開催

9/25
ザクラウンパレス新阪急高知
四県町村会・議長会主催



四国四県町村会と同町村議会議長会は、9月25日（木）午後2時から高知市の「ザクラウンパレス新阪急高知」で「令和7年度四国四県町村長・議長大会」を高知県当局により開催した。

これは四県の連携をより強化するための大会で、四国四県57町村から町村長及び議長ら約170名が出席し、盛大に開催された。

大会は、五味高知県町村議会議長会長の開会のことばの後、上村高知県町村会長のあいさつがあり、その後、谷川香川県町



議長を務める前田愛媛県町村議会議長会長
（上島町議会議長）

村会長が、「宣言」を朗読し、決定した。

次いで来賓の濱田高知県知事、三石高知県議会議長、田島全国町村会副会長並びに中本全国町村議会議長会長の各来賓から懇篤な祝辞をいだいた。

次に議事に入り、はじめに前田愛媛県町村議会議長会長（上島町議会議長）を議長に選出。

続いて、提出議題6議案についての審議に入り、本県からは福島愛媛県町村議会議長会副会長（伊方町議会議長）が「医療・福祉施策の充実・強化について」を説明し、全ての議案について決議された。

引き続き、特別決議2議案につい

て審議に入り、本県からは坂本愛媛県町村会副会長（松野町長）が「四国新幹線の整備促進に関する特別決議」を朗読し、「参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議」とともに採択された。

更に、「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する共同アピールについてが朗読され採択された。

次に、本大会の決定事項の実行運動方法については、四国四県の町村会長並びに議長会長に一任することとなった。

最後に、高門愛媛県町村会長（伊方町長）が閉会のことを述べて、大会の幕を閉じた

引き続き記念講演に移り、馬路村農業協同組合元組合長の東谷望史氏を講師に迎え、「ごつくん馬路村をつくった男」と題し、講演を開催した。



記念講演講師
馬路村農業協同組合元組合長
東谷 望史氏

なお、大会終了後には、意見交換会が盛大に開催され、出席者の交流が図られた。

宣 言

四国には、四国八十八箇所霊場をはじめ、世界に誇れる独自の歴史・文化が根づいている。

また、多島美の瀬戸内海、黒潮躍る太平洋、美しい山々、素晴らしい田園風景など美しく豊かな自然があり、日本のふるさとの原風景が脈々と受け継がれている。

我々町村は、それぞれの地域が持つ豊かな自然、そこに暮らす人々の営み、そこから生まれた風習や伝統文化を大切にしながら、新たな価値を付加し、魅力ある地方を創生していかなければならない。

しかしながら、急速な少子・高齢化の進展、大都市圏への人口流出などにより、農林水産業をはじめとする地域経済のみならず、集落活動や地域文化の担い手不足などで、地域活力は低下の一途を辿っており、特に、中山間地域や離島においては、買い物や移動手段といった生活面での不安も抱え、近い将来、集落の消滅さえ危惧されている。

この非常に困難な状況を打開すべく、国と地方は「地方の再生なくして日本の再生なし」という強い信念を持ち、地方独自の創意工夫や国・地方の緊密な連携のもと、人口減少の克服と地方創生の充実・強化に総力を挙げて取り組んでいかなければならない。

我々、四国57町村長と議長は、人々がふるさに誇りを持ち、希望と活力に満ち溢れた地域社会を実現するため、持てる限りの英知と努力を傾注することをここに誓うものである。

以上、宣言する。

令和7年9月25日

四国四県町村長・議長大会



提案理由説明をする福島愛媛県町村議会議長会副会長
(伊方町議会議長)



特別決議を朗読する坂本愛媛県町村会副会長
(松野町長)



閉会のことばを述べる高門愛媛県町村会長
(伊方町長)

令和7年度 四国四県町村長・議長大会提出議題

番号	議 題	説 明 者
1	地方税財政の充実・強化及び地方創生の推進について	高知県町村会副会長 和田 守也
2	医療・福祉施策の充実・強化について	愛媛県町村議会議長会副会長 福島 大朝
3	南海トラフ地震対策及び防災・減災対策の推進について	高知県町村会副会長 和田 守也
4	四国地方の交通基盤の整備促進について	香川県町村議会議長会副会長 大西 樹
5	農林水産業・地域の活力創造について	徳島県町村会副会長 野上 武典
6	脱炭素社会の実現に向けて	香川県町村議会議長会副会長 大西 樹

決 議

- 1 地方税財政の充実・強化を図り、地方創生を推進すること
 - 1 医療・福祉施策を充実・強化すること
 - 1 南海トラフ地震対策等、防災・減災対策の充実・強化を図ること
 - 1 四国地方の交通基盤等を整備促進すること
 - 1 農林水産業の振興対策及び地域の活力創造を積極的に推進すること
 - 1 脱炭素社会の実現に向けた取組をより一層推進すること
- 以上、決議する。

令和7年9月25日

四国四県町村長・議長大会

参議院選挙の合区の見直しに関する特別決議

日本国憲法が昭和22年に施行されて以来、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年以降、5度の合区による選挙が実施された。

その結果、比例代表に新たに「特定枠」が導入されたものの、投票率の低下や直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなど、合区を起因とした弊害が顕在化したままである。

これからの時代の「この国のあり方」を考えていく上で、多様な地方の意見が国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思として参議院を通じて国政に届けられなくなることは極めて問題であり、地方創生や安心安全な国づくりにも逆行するものである。

合区に対しては、地方六団体の全団体において合区の早期解消を決議しており、合区問題の抜本的な解決は「地方の総意」でもある。

については、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とするため、憲法改正も含め「参議院の合区解消」を早急に実現することを強く求める。

以上、決議する。

令和7年9月25日

四国四県町村長・議長大会

四国新幹線の整備促進に関する特別決議

全国各地で高速鉄道ネットワークの整備が着々と進む中、四国は全国の中で唯一新幹線の空白地帯となっており、四国地方の発展を図っていくためには、圏域内及び大都市を結ぶ高速交通ネットワークの整備が不可欠である。

2024年の政府の経済財政運営の指針「骨太の方針」では、2023年に続き、基本計画路線を取り上げ、「地域の実情に応じた諸課題について方向性も含め調査検討を行う」としている。

1973年に四国新幹線が基本計画路線に策定されてからはや半世紀を超え、最速で2037年にはリニア中央新幹線が開業し、北陸新幹線は京都、新大阪まで、また、北海道新幹線は、札幌まで延伸する計画であるのに対し、四国新幹線は未だ基本計画のままであり、整備計画への格上げに向けた取組を、さらに強化していく必要がある。

四国に新幹線が整備されれば、四国内における移動時間の大幅短縮のみならず、関西、九州など既存の新幹線ネットワークとの接続による広域交流圏が形成され、観光や産業面での広域的な人流を呼び込むことにより、今後の我が国の経済成長をけん引する地方の発展を支え、地域活性化と未来に繋がるまちづくりを促進するとともに、さらに2050年のカーボンニュートラル社会の実現のためにも、一日も早い整備が望まれている。

よって、国においては、四国新幹線について早急に整備計画への格上げ及び早期実現に向けた措置を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和7年9月25日

四国四県町村長・議長大会

「四国遍路」の世界遺産登録の推進に関する共同アピール

「四国遍路」は、徳島・高知・愛媛・香川の4県をつなぐ空海ゆかりの八十八箇所霊場をループ状に巡る全長1,400kmの壮大な寺院巡礼である。

この巡礼は、古くから一般庶民に定着し、それを地域社会が「お接待」と呼ばれるおもてなしの心で支えている。

遍路の基となる「思想・信仰」、実践する「場」、さらにそれを支える地域の「お接待」の三者が一体となった「遍路文化」は、空海が四国霊場を開創したとされる西暦815年から、1200年余の長きにわたり脈々と受け継がれてきた。

こうした「遍路文化」に象徴される「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、平成27年に文化庁により日本遺産として認定されているが、日本国内のみならず世界的に見ても普遍的価値のあるもので、文化財への関心や保護の意識を高め、人類全体の遺産として次代に引き継いでいくべきものであり、まさに、世界文化遺産にふさわしいものと言える。

四国の産官学民の関係団体は、四国遍路世界遺産登録推進協議会を設立し、国から示された課題の解決に向けた取り組みを進めており、平成28年8月には、文化庁に対して構成資産の保護措置や普遍的価値の証明などを盛り込んだ提案書を再提出したところである。

我々としても、引き続き国に対して、「四国八十八箇所霊場と遍路道」を長大なエリアに及ぶ生きた文化遺産として、この文化遺産が効果的に保存・承継できるよう、世界遺産候補暫定一覧表へ早期に追加記載することを強く求めるものである。

今後、我々は、関係者との連携を強化し、一層の機運の醸成に積極的に取り組むとともに、すべての人を温かく受け入れてきた「四国遍路」の素晴らしさを幅広く周知するなど、世界遺産登録に向け、四国が一体となって取り組むことを強くアピールする。

令和7年9月25日

四国四県町村長・議長大会

令和7年度 初級職員研修会を開催

愛媛県町村会は、令和7年度町職員研修会実施計画に基づき、勤続23年の職員を対象とした初級職員研修会を9月4日(木)～5日(金)にNOSAIえひめで開催した。

次のとおり、初級職員研修会の修了証書に代えて「受講者名簿」を掲載する。

【研修内容】

・地方自治制度

愛媛県市町振興課 行政係長 佐藤 由紀 氏

・クレーム応対

アナウンスハウス松山合同会社 代表社員 福井 一恵 氏

・地方公務員制度

愛媛県市町振興課 主幹 吉田 直史 氏

・地方財政制度

愛媛県市町振興課 財政係長 近藤 恭平 氏

・選挙制度

愛媛県市町振興課 選挙係長 大岩 誠 氏

・コミュニケーションスキル研修
サクセスブレインズ株式会社 取締役 門田 聖子 氏

研修会受講者は、以下のとおり。

【受講者名簿】

町名	所属名	氏名
久万高原町	総務課	山本 正行
〃	保健福祉課	越智 遥
〃	住民課	市川まなみ
〃	住民課	池田悠太郎
〃	農業戦略課	辻田 春翔
〃	まちづくり戦略課	大野 治
松前町	総務課	三好 優真



研 修 会

町名	所属名	氏名
松前町	総務課	三好 優真
〃	総務課	西岡 安弥
〃	税務課	水元 姫歌
〃	町民課	大東 陽祐
〃	福祉課	澤田 廉太郎
〃	松前ひまわり保育所	木下 侑奈
〃	松前ひまわり保育所	三津山 夏子
〃	保険課	内田 舞
〃	健康課	渡辺 ゆめ子
〃	健康課	武智 大輔
〃	まちづくり課	別宮 琉衣
〃	上下水道課	丸谷 達矢
〃	総務課	井上 朋恵
〃	保健センター	山本 仁虹
〃	建設課	西岡 陸
〃	社会教育課	中川 寿克
〃	社会教育課	長岡 菜由乃
〃	町民課	宮岡 さくら

令和7年度 初級職員研修会日程

【1日目】 日 時：令和7年9月4日(木)
場 所：NOSAI えひめ 5階 会議室

研修時間	研修テーマ・講師
10:10～10:30	受 付・開 場
10:30～10:40	開 会
10:40～12:10	「地方自治制度」 愛媛県市町振興課 行政係長 佐藤 由紀 氏
12:10～13:20	休 憩
13:20～14:50	「クレーム応対」 アナウンスハウス松山合同会社 代表社員 福井 一恵 氏
15:00～16:30	「地方公務員制度」 愛媛県市町振興課 主幹 吉田 直史 氏

【2日目】 日 時：令和7年9月5日(金)
場 所：NOSAI えひめ 5階 会議室

研修時間	研修テーマ・講師
8:45～ 9:00	受 付・開 場
9:00～10:30	「地方財政制度」 愛媛県市町振興課 財政係長 近藤 恭平 氏
10:40～12:10	「選挙制度」 愛媛県市町振興課 選挙係長 大岩 誠 氏
12:10～13:20	休 憩
13:20～14:50	「コミュニケーションスキル研修」 サクセスブレインズ株式会社 取締役 門田 聖子 氏
14:50～15:00	閉 会

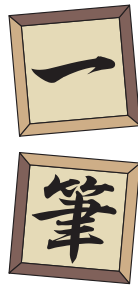
町名	所属名	氏名
砥部町	上下水道課	谷森 史弥
〃	商工観光課	今井 駿也
〃	農林課	門田 聖広
〃	町並・地域振興課	河野 末奈
〃	小田支所	山岡 沙衣
〃	農林振興課	湊 裕昭
〃	環境政策室	向井 俊祐
〃	内子総合窓口センター	大野 桃花
〃	住民課	畔地 樺凜
〃	自治・学習課	窪田 智貴
〃	学校教育課	北本 加津美
〃	建設デザイン課	三好 俊平
〃	建設デザイン課	横田 太我
〃	五十崎こども園	岡田 菜月
〃	五十崎こども園	北岡 明香里
〃	地域包括支援センター	小野 雛
〃	こども支援課	石岡 優奈
〃	内子学校給食センター	沖野 祐希
伊方町	総務課	城岡 陽向
〃	総務課	米澤 楓雅
〃	総合政策課	中元 真理
〃	総合政策課	井上 宗太郎
〃	保健福祉課	武山 実花
〃	建設課	谷口 之浩
〃	農業委員会	宮本 聖真
〃	上下水道課	竹本 流星
〃	総務財政課	堀田 紘史
〃	危機管理課	東谷 一彪
〃	町民生活課	葛本 裕貴
〃	水道課	坂本 純平
〃	水産課	中村 一喜
〃	建設課	辰巳 拓矢
〃	税務課	清家 航輔
〃	内海支所	黒田 幸教
〃	水産課	山口 あゆみ
〃	保健福祉課	藤田 夏海
愛媛県町村会	総務課	久保 佳織
〃	事業課	小西 涼雅

議長紹介

9月24日松前町議会定例会において、議長の選挙が行われ、住田英次氏が再選された。

松前町議会議長

住田英次氏



治まらない21

今年の夏期、日本列島は短い春季から例年にならない暑さに閉じ込められ、しかも猛暑にさらされた。これからの夏は、年を追う毎にますます気温は上昇し、長期の暑さが当たり前になるであろう気象予報が残像である。ただ9月に入り、間違いなく日の出の時刻は遅く、日の入りは早く

なった。秋の彼岸過ぎにどうにか列島も一息ついたが、爽やかな秋はまだである。日本の「四季」が、夏と冬の「二季節」になったような気配は、異常気候としか言いようがない。今年は、猛暑のためセミの鳴く期間が極端に短く、蚊の活動も秋が本番らしい。曼殊紗華（天上に咲くという花の名。見る者の心を穏やかにするという。…広辞苑）がやっとたぬ池の土手や畦道、遅ればせに真っ赤な絨毯を敷き始めた。秋の彼岸花である。

現下の気候変動に対し、対策は『不要、詐欺』と高らかに公の場で弁論する者もいるが、この9月の世界各地の大雨による災害一つ取り上げてみても、異常としか言いようがない現実。異常気象の「つけ」は、全ての人に降りかかってくる。対策は、分断に利用されることなく全世界で取り組み、万全を期すしか道はない。さて、来月、日本の新リーダーが登場する。我が国も先の大戦後から80年、それなりの国民の努力もあり平和な時代を未来へ継続中。ただ周辺国、ウクライナへ侵攻中のロシア、北朝鮮、人口がインドに次ぐ大國の中国、この3か国が保有する約6120発超の核弾頭に囲まれている。同時に隣国は「友人」でもある。備えは、常に揺るぐことのない「柔と剛」でなければならぬ。新リー

ダーは手腕を。

また、我が国の高齢社会から人口減少国への流れは、特別変異ではなく自然である。今日の訪日外国人に対するルールの確立は急を要する。また、労働力の補充政策は、諸外国の混乱を参考に精査し、受け入れる側の国民性を十分見極めて、法的整備する事がまず不可欠な時期に今ある。国際連合も創立80年。第二次大戦後、平和と安全の維持、各国間の友好関係の促進、経済上・社会上・文化上・人道上の問題について、国際協力を達成するために設立された諸国間の組織とあるが、5か国の非常任理事国の「拒否権」を始め、あらゆる事象に何となくスッキリしない機能不全感はない。本来なら「戦い」の仲裁をすべき立場の国が、戦争を引き起こす始末。総てが、明々白々の事象として治まらないような21世紀。今や自然界の気候変動悪化に潰されるか、自己ファーストの悪い流れに埋没し、国内から国対国の「分断」への流れは極めて危うい。未知のウイルス出現も危惧される。世界の「終末時計」は、秒針が一段と加速の方向にある…。

(T)



9月の会と催し

- ▽1日 令和7年度中国・四国ブロック過疎対策担当課長等会議
- ▽2日 令和7年度中国・四国ブロック過疎対策担当課長等会議現地視察
- ▽3日 全国町村会災害共済事務連絡会議
- ▽4日 愛媛県町村会初級職員研修会(5日まで)、全国町村会理事会・都道府県町村会会長会
- ▽5日 一社内外情勢調査会松山支部9月懇談会、労働安全衛生業務担当者研修会(共済組合主催)
- ▽11日 災害共済関係事業等加入推進及び火災予防運動等関係事務打合せ(12日まで)
- ▽16日 全国簡易水道協議会令和7年度第2回理事会・第1回事務局長会議
- ▽18日 令和7年度都道府県退職手当組合職員研修会(19日まで)
- ▽19日 日本スポーツマスターズ2025愛媛大会オープニングイベント・開会式(前夜祭)
- ▽25日 令和7年度四国四県町村長・議長大会運営協議会、令和7年度四国四県町村長・議長大会、令和7年度四国四県町村長・議長大会記念講演
- ▽29日 中国・四国地区退職手当事務連絡会議

町村議会議員のみなさまのための びょうき・がん・介護の保険

新・団体医療保険

(医療保険基本特約・疾病保険特約・がん保険特約・介護一時金支払特約・軽度認知障害等一時金支払特約セット団体総合保険)

【新・団体医療保険にご加入の皆さまへ】

2025年10月1日以降保険始期契約について、新・団体医療保険の補償内容の改定を行っています。
更新に際し、改定後の内容にてご案内しますので、必ず本パンフレットをご確認ください。

『びょうき・がん・介護の保険』は**町村議会議員のみなさまと、
その配偶者さま**に安心をお届けする制度です。

Aプラン

びょうき

に備える

疾病を発病された場合に
入院・手術・通院や病気や
ケガによる**先進医療**等の
費用を補償します！

Bプラン

がん

に備える

がんと診断確定された場合の
入院・手術・外来治療や
病気やケガによる**先進医療**等の
費用を補償します！

Cプラン

介護

軽度認知障害(MCI)
に備える

所定の要介護状態や軽度認知障害
または認知症と診断確定された
場合に一時金をお支払いします！

『びょうき・がん・介護の保険』の特長

- 1 保険料は**団体割引25%が適用**されます！(P5を参照ください。)
- 2 びょうき・がんになった時の**入院・手術**を**補償**！
- 3 びょうき・がんの保険は**先進医療**にも**対応**！
- 4 介護の保険は**便利**な**一時金**のお支払い！
- 5 新規加入は**79歳**まで！**配偶者さまも**ご加入できます！
(ご継続可能年齢につきましてはP6をご参照ください。)

詳細な補償内容や保険料はP4以降をご確認ください。

保険期間

令和8年1月1日(午後4時)～令和9年1月1日(午後4時)

募集締切日

令和7年11月7日(金)

保険契約者

全国町村議会議員互助会

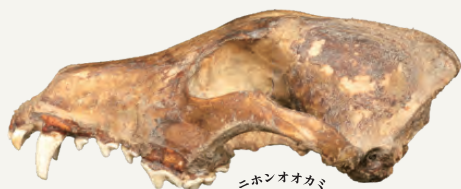
取扱代理店

株式会社まちむら

面河山岳博物館 第58回特別展

絶滅危惧

標本が語る愛媛の自然



期間：2025年7月19日(土)～11月24日(月・祝)

会場：面河山岳博物館

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日、祝日の翌日 ※月曜日が祝日の場合・祝日の翌日が土日の場合は開館、8/12(火)は臨時開館

観覧料：一般450円(団体400円)／小中学生250円(団体200円)

※団体は20名以上、高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者(介添者1名を含む)は300円(小中学生の場合はその半額)
※会場の3階企画展ブースまではエレベーターがございません。介助が必要な場合は前日までにご連絡ください。

主催：久万高原町、面河山岳博物館、愛媛新聞社

後援：愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、東温市教育委員会、伊予市教育委員会、松前町教育委員会、砥部町教育委員会、久万高原町教育委員会
NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

協力：愛媛県総合科学博物館、愛媛県立とべ動物園、愛媛大学ミュージアム、愛媛県生物多様性センター、愛媛会、日本野鳥の会、NPO法人西条自然学校
NPO法人森から続く道、松山中央高等学校、愛媛大学附属高等学校ほか



HP・SNS

〒791-1710 愛媛県上浮穴郡久万高原町若山650番地1
Tel.0892-58-2130 Fax.0892-58-2136

カブトムシを体験しよう!

カブトムシやクワガタムシ、
カマキリなど生きた身近な
昆虫を飼育展示します。
カブトムシは自由に触ることが
できます。 ※9月中旬に終了。



★特別展期間中に本チラシを受付でご提示いただくと**50円割引**いたします(4名様まで有効) ※1組1枚まで利用可、他の割引との併用不可

【町立久万美術館、久万高原天体観測館でも50円割引(有効期限はR7.7/20～12/8)】